

学級経営 実践基礎研修

戸坂小学校
柳原涼子教諭の実践
※平成29年度の実践発表によるもの

研修紹介 学級経営に必要な2つのポイント

平成30年度の新学期が始まりました。それは同時に学級経営のスタートでもあります。学級経営のポイントとしてはクラスでの明確な「**ルール**の共有」と教師や子ども同士のつながりを大切に「**リレーション**（関係性）の構築」が挙げられます。

今回は「聞く・認める」「ほめる」「やりきる」ことを手立てとして、「**ルール**の共有」と「**リレーション**の構築」に向けて実践している取組例を紹介します。

聞く・認める

ほめる

やりきる

ルールの共有



「みんなはどう思う？」と、子どもに意見を求めてからルールを決める。そうすることで「なぜ守らなければならないのか」というルールの意義に気付くことができる。

きちんと守れていることをしっかりほめることで「守ってよかった」という思いを広げていく。この繰り返しにより、ルールが学級のスタンダードになっていく。

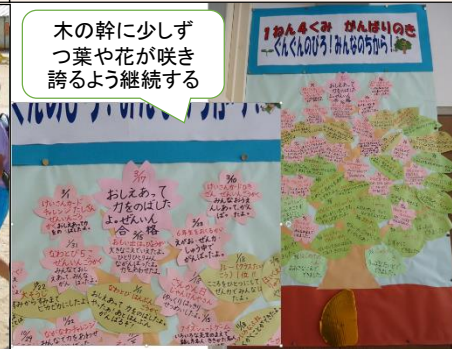
毎日繰り返すことは慣れから惰性になりがちだが、教師が「これくらいは」と妥協せず、毅然とした態度で必ずやりきる。その決意が子どもに伝わり、ルールが徹底される。

リレーションの構築

学級会

子供達
「もっと仲良くなるために
お楽しみ会を
しよう」

教師
「成功させるには
どんな話合いが
必要な」



子どもたちがお互いの意見を認め合い、進んで話し合う。教師は話合いの過程も認め、実現させてやることで、子ども同士、教師と子どものつながりが深まる。

一日の最後に、教師と子どものコミュニケーションの時間を設ける。お互いが顔を見て、心を開いて関わることで、つながりを実感することができる。

学級全員のがんばりを、見える形でつないで掲示する。みんながお互いの成長を明確に感じられるように、最後まで必ずやりきる事が大切。

実践者から

学級の子ども達全員が「この学級で良かった！」と思える学級経営を目指しています。そのために、みんなが楽しく・安心して過ごせる環境づくり、人間関係づくりを大切にしています。そのポイントが「**ルール**の共有」と「**リレーション**の構築」です。このことを常に心に留め、様々な場面で教師が意識しながら実践することで、子ども達の表情・行動が変わっていきます。子ども達が「きらり」と光る一瞬に立ち会える喜びを感じながら、これからも子ども達が輝ける学級経営をしていこうと思っています。